



プレスリリース

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

ギュムリ・ケア・センター施設整備計画 供与式の実施

エレバン：令和7年10月22日

令和7年10月9日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ギュムリ・ケア・センター施設整備計画」（供与限度額：66,137米ドル）の供与式が、シラク州のギュムリ・ケア・センターにおいて開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、ダヴィト・ネルシシヤン・アルメニア赤十字社代表、アルセン・トロシヤン・労働社会問題大臣、ダヴィト・アルシャニヤン・シラク州知事が出席したほか、本事業関係者や他ドナーが出席しました。

本事業はギュムリ市に所在する高齢者や障害者対象の入居施設であるギュムリ・ケア・センターの一部改修（2階廊下、改修面積380平方メートル）を行い、新しい生活備品を整備することにより、約160名の高齢者や障害者の入居者が安全かつ安心して日常生活を送ることを可能にすることを目的としています。同センターは建築から47年が経過し老朽化が進み、床や壁、天井の劣化により入居者が転倒や怪我をする危険性がありました。また、椅子やベッドなどの劣化も著しく、共同スペースには机やソファもなかったため、入居者同士の交流や職員との相談も困難な状況でした。ギュムリ市は国内第二の都市ですが貧困率が40%以上と高く、特に脆弱な高齢者や障害者への支援が求められていました。

ネルシシヤン・アルメニア赤十字社代表は式典で、「日本の支援のおかげで、ギュムリ・ケア・センターに暮らす入居者の生活が大きく変わりました。改修された施設には、入居者が幸せで充実した生活を送るために必要なすべての設備が整備されています。」と謝辞を述べました。また、青木豊駐アルメニア日本国大使は、「ギュムリを訪れるたびに、スピタク地震からの復興に注がれた努力を思い起こします。困難を経験しながらも決して諦めることのなかった地震の生存者である方々を支援できることを誇りに思うとともに、本事業の完了を心よりお祝い申し上げます」と述べました。



謝辞を述べる
ネルシシヤン・アルメニア赤十字社代表



祝辞を述べる 青木大使



整備された施設の利用者



施設の従業員と利用者